

やけのそよ風



No.29

令和5年1月10日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

笑う門には福来る

明けましておめでとうございます。

令和5年が始まりました。今年もよい1年になりますよう祈念いたします。

冬休み中は、各ご家庭、地域の皆様のご協力のおかげで、子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく元気に過ごすことができました。ありがとうございました。

冬休み中に、いきいき活動に来ていた子どもたちが「校長先生、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。」と、さわやかな笑顔であいさつをしてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。「笑顔は幸せな気分をプレゼントしてくれるんだな。」と思いました。

「笑う門には福来る」という言葉があります。「門（かど）」というのは家の門のことで、ここでは「家庭」という意味で使われています。つまり、「笑顔がいっぱいの家庭には、自然と幸せがやってくる。」また、「明るく朗らかにすごすことができれば、いずれ幸せがやってくる。」「悲しいことや苦しいことがあっても、希望を失わずに笑って過ごせば、幸せがやってくる」という意味です。

「笑うこと」には、さまざまなパワーがあるそうです。例えば、「脳の働きが活性化する」「血行が促進される」「免疫力が高まる」「自律神経のバランスが整う」「筋力がアップする」「幸福感や鎮痛作用がもたらされる」などの効果があるとの研究結果もあるようです。昔から「笑いは百薬の長」「笑いに勝る良薬なし」とも言われているように、笑顔でいると健康によいとされています。反対に、怒りや悲しみなどのマイナス感情は身体に害を与えとも言われています。

新型コロナウイルスが確認されてからおよそ3年が経ちますが、新年を迎えるにあたり「今年こそは笑って過ごしたい!」と思ってられる方も多いと思います。私も同じ気持ちです。しかしながら、新型コロナウイルスの新規感染者が増加し、年末から感染症の拡大状況や医療体制の逼迫状況を表す「大阪モデル」が「赤信号」になるなど、残念ながらまだまだ気を緩めることができない状況です。不安を抱えていると、少なくなってしまうのが「笑う」こと。こんな時だからこそ、ぜひ「笑顔」を意識してすごしたいものです。

これまで、コロナ禍にあっても、前を向いて子どもたちの笑顔のために、今できる最善のことを一つずつ取り組んできました。本年も、焼野小学校が子どもたちにとって大切な成長の場となるよう教育活動に取り組んでまいります。本校の教育活動へのご理解と変わらぬご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



【お知らせ】5年生「泊を伴う行事」の目的地の変更について

現4年生の保護者の皆様には、12月22日付保護者宛プリントでお知らせしましたが、5年生で毎年実施している「泊を伴う行事」の目的地を、令和5年度に変更します。

これまで5年生で夏季休業中の「泊を伴う行事」として、奈良県吉野郡天川村で「林間学習」を実施しておりました。しかしながら、村内には病院の数が少ない上、大きな病院までは車で1時間以上かかることや、荒天時に利用できる施設が地区内に1つしかなく、他の団体との競合になることから、目的地の変更を視野に入れ、検討してまいりました。

つきましては、次年度の「泊を伴う行事」の目的地を兵庫県南あわじ市の国立淡路青少年交流の家に変更し、「自然体験学習」として実施することになりました。

目的地変更に際しましては、宿泊施設や交通機関とも連携し、安全に実施できるよう万全を期すとともに、普段の学校生活では味わえない活動を多く取り入れ、子どもたちの思い出に残る行事となるよう計画します。保護者の皆様方のご理解・ご協力をお願いします。

○実施日 令和5年7月25日（火）～26日（水） 1泊2日

○行き先 国立淡路青少年交流の家（兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39）

○想定される主な活動（変更の可能性あり）

- ・野外炊飯 ・キャンプファイヤー ・カッター体験 ・ディスクゴルフ
- ・ストーンペインティング 等



やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【おはなの なえを うえたよ（1年生）】

地域の方からいただいたお花の苗を、1年生の子どもたちが学習園に植えました。春には、きれいな花が咲くことでしょう。とても楽しみです！



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。